

浅羽野中だより 「胡桃の木」

No.9

学校教育目標 「学び 鍛え 思いやる」

～「浅中力」を身につけた生徒の育成～

令和5年7月6日 坂戸市立浅羽野中学校 校長 小林 正明

気温の高い日や雨模様の日、突然の雷や風雨など、安定しない天候が続いています。早いもので1学期も残すところあと2週間となりました。お陰さまで学校では、順調に教育活動を行うことが出来ています。生徒たちには残り少ない1学期のまとめの時期を、熱中症に気を付けながらしっかりと過ごしてほしいと思います。

〔 坂戸市自主防災組織浅羽野支部防災会長による防災学習と一斉下校 〕

本校では昨年度から防災教育に力を入れて教育活動を行っております。その一環として、6月26日(月)に地域防災学習と地区別一斉下校を行いました。当日は本校の学区にある12地区の防災会長の方々に来校していただきました。まずは放送で全体に向けて防災に関する話を鶴舞地区の三島様からしていただき、その後各地区ごとに防災会長さんが地区の生徒に向けて、その地区独自の防災について話をしました。それぞれの地区の避難所や備蓄庫の場所、土地の形状からわかる避難する際の注意事項、防災に対する心構えや地域の中学生に期待することなどを、分かりやすく説明していただきました。生徒たちは自分たちが住んでいる地域のことなので、興味深く真剣に耳を傾けていました。災害などの有事の際に、自分たちが地域に貢献できることは何なのかを、考えるきっかけになったことと思います。その後、グラウンドに地区別に集合し、あらかじめ決めておいた班ごとに一斉下校を行いました。防災会長と地区担当の教員が生徒と一緒に下校し、途中でPTAの通学ボランティアの方々にもお世話になりました。立哨指導ありがとうございました。今後も地域に根差した防災教育を推進してまいります。



〔 浅羽野小中合同あいさつ運動 〕

3日(月)と4日(火)に、浅中生が浅羽野小学校に出向き、小学校と一緒に朝のあいさつ運動を行いました。メンバーは浅中が生徒会総務役員と各部活の部長、浅小は運営委員で、東門と西門に分かれて元気よく登校してくる児童にあいさつしていました。中学生と一緒にだと、小学生もやる気に満ちているようで、みんな意欲的に大きな声であいさつを返してくれていました。あいさつは生活の基本です。浅中生は日頃から、小学生の見本となるようなあいさつがしっかりと出来ています。小学校と中学校が連携して、あいさつがよく出来る子供たちを育てていきたいです。



デジタルタトゥー

デジタルタトゥーという言葉を知っていますか？ インターネット上で一度拡散された情報は、後から削除するのが難しく、半永久的に残り続けてしまうため、入れ墨（タトゥー）に例えてデジタルタトゥーと呼ばれています。

こんな投稿がデジタルタトゥーに……

インターネット上で拡散され、デジタルタトゥーとなりやすい投稿としては、以下のような不適切な投稿があげられます。

不適切な投稿の例

- ・飲食店で料理や、客が共用する調味料などにいたずらをしているもの
- ・電車の線路内など、立ち入り禁止場所に進入しているもの
- ・店の中や駅などの公共の場所で、ダンスをするなどの迷惑行為をしているもの
- ・コンビニやスーパーで、購入前の商品を使用（飲食）しているもの



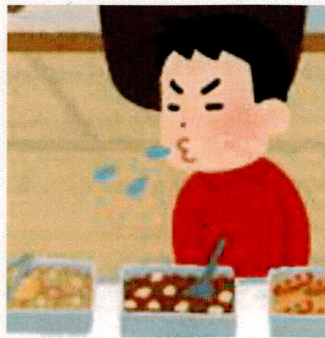
このような投稿をすると……



まとめサイト

【炎上動画】 ○○○（飲食店の名前） の迷惑行為の犯人を特定

名前：×× A男
年齢：16歳
学校：□□学校2年 ◇◇部
バイト先：■ ■ ×××店



氏名や学校名などの個人情報を特定され、問題の投稿と一緒に、インターネット上のさまざまなサイトに掲載されてしまいます。

一度情報が拡散されてしまうと、後から削除するのは難しく、インターネット上に残り続けることとなります。

不適切な投稿をすると、最悪の場合逮捕されたり、対象の飲食店などから多額の損害賠償を請求されたりする可能性があります。



不適切な投稿と個人情報がデジタルタトゥーとなって残り続けると、進学や就職など、将来にまで悪影響が及んでしまいます。インターネット上で一度拡散された情報は後から削除することができない、ということ意識して、その投稿が二度と消せなくなっても大丈夫なものか確認してから投稿するようにしましょう。